

世界のデング熱流行状況(更新 14)

2010年6月27日 ProMED 情報

(1)メキシコ(Jalisco 州)[El Informador]

同国保健省によると、2009年5月17~23日を含む第20週目までに、デング出血熱11名を含むデング熱患者131名が報告されましたが、今年は同期間でデング出血熱患者77名を含むデング熱患者502名が報告されました。昨年より4倍以上です。

(2)ドミニカ共和国[El Nacional]

サント・ドミンゴ市での子供と高齢者での古典的なデング熱とデング出血熱の発生は、警戒を要するほどで、このため公立病院医師や開業医達は、高い罹患率を危惧しています。

(3)ベネズエラ[El Nacional]

疫学公報によれば6月5日までに同国全体でデング熱患者41,573名が報告され、デング熱の流行が宣言されました。最近10週間で、首都地区 Capital District のデング熱患者は第1週の90名から第10週には315名に増加しました。デング熱患者41,573名中デング出血熱患者は4,136名でした。5月30日~6月5日の週では、多くの患者はTachira州(435名)、ミランダ Miranda 州(425名)、メリダ Merida 州(423名)、首都地区(315名)、Zulia 州(295名)から報告されました。

(4)ブラジル(リオ・デ・ジャネイロ州)[Terra]

保健当局によると、同州では今度の夏デングウイルス1型が、再び流行することを心配しています。2010年は、リオ・デ・ジャネイロ市、Paraty、Angra dos Reis、Campos、Natividade でデングウイルス1型が分離されました。1986年に流行を引き起こしたこの1型は、1990年代はじめからは分離されていません。このため、これ以降に生まれた者は全員全く免疫がありません。今年1月から、21名のデング熱死亡患者が確認された同州92自治体のうち20自治体ではデングウイルス1型と2型が流行を引き起こしました。これらの20自治体では人口100,000名当たり300名以上の患者が発生しています。特にイタペルナ Itaperuna では、人口100,000名当たり患者1,168名です。同市ではデング熱患者は4月に388名、5月に605名報告されました。

(5)ブラジル(ミナス・ジェライス州)[Estado]

保健当局によると、同州ではデング出血熱患者110名を含むデング熱患者195,640名とデング熱死亡患者17名が発生しました。そのほかに死亡患者61名が調査中で、合併症による死亡患者も29名います。ペロ・オリゾンテ Belo Horizonte 市ではデング熱患者52,254名、Betim 市で15,776名、Contagem 市で6,181名が報告されました。

(6)ブラジル(アラゴアス Alagoas 州)[Alagoas 24 Horas]

健康対策責任者によると、デング熱患者26,000名が報告されました。昨年同期は約3,000名でした。

(7)アルゼンチン[Ministerio de Salud de la Nacion]

同国では、昨年12月~今年5月30日まで、デングウイルス1型、2型、4型が循環しています。2010年は、現在までデング熱患者1,185名が報告されました。

(8)コロンビア(ウイラ Huila 県)[La Nacion.com.co]

同国ウイラ県では、デング熱患者5,278名が報告され、3,922名が確定診断されました。また898名が重症で、死亡患者11名も報告されています。国全体ではデング熱死亡患者106名が報告されています。

(9)インドネシア(バンテン Banten 州)[Barita Jakarta]

東ジャカルタ保健当局によると、同州でデング熱患者4,622名が報告されました。デング熱患者数が最も多いのは、Durenawit sub-district で892名です。次はCakungで763名および死亡患者4名、以下、ジャティネガラ Jatinegara 480名、Pulogadung 450名、Kramatjati 431名、チパユン Cipayung 384名、Matraman 354名、チラチャス Ciracas 302名、マカッサル Makassar 300名、Pasarrebo 266名が報告されています。